

議 会 だ よ り

おおやまざき



第 81 号
発行
平成29年 9 月 1 日

平成29年第 2 回定例会（6 月議会）会期 6 月 6 日～29 日（24 日間）

平成29年度一般会計補正予算案などを可決
会期延長して審議～直接請求/第三大山崎小学校・学童保育でっかい
クラブの移転を問う住民投票条例案は否決～



THE TENNOZAN SHRINE, YAMASHIRO.

山王天の中雨崎山城山

▲大正末期～昭和初期ごろ 提供：西田運送店 現在▶

表紙の写真

「酒解神社の二の鳥居」

酒解神社(白玉手祭来酒解神社)は、江戸時代末期まで天神八王子社と呼ばれました。遅くとも鎌倉時代から天王山に鎮座し、大山崎の地主神として信仰されていました。参道に沿って、山麓、中腹、社域の三ヶ所に鳥居が立っています。昭和9年(1934)の室戸台風によって、中腹にあった二の鳥居が倒壊しました。長らく、鳥居がない状態が続きましたが、平成6年(1994)4月、氏子の寄進によって再建されました。上は戦前の絵はがきに載った、酒解神社の二の鳥居です。下は現在の様子です。(大山崎町歴史資料館)



主な内容

平成29年第2回定例会

一般質問要旨など……………	2 ～ 6	審議結果……………	7
住民投票条例制定請求について……………	6	こんなことが決まりました等……………	8

町政を問う

一般

質問

第2回定例会(6月議会)では、8人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、考えをたどりました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

岸 孝雄議員……P 2

- ❖武力攻撃事態等における住民の保護体制について
- ❖災害廃棄物の処理体制について 他

辻 真理子議員……P 3

- ❖保育所について 他

北村 吉史議員……P 3

- ❖都市計画税と本町のまちづくりについて
- ❖高齢者を狙う振り込み詐欺対策について

波多野 庇砂議員……P 4

- ❖通学路の安全対策について
- ❖町道1号線名神高架下北狭小S字カーブの対策について 他

朝子 直美議員……P 4

- ❖公共施設の老朽化対策について
- ❖平和事業について

西田 光宏議員……P 5

- ❖大山崎町の玄関口(JR・阪急)駅周辺整備及び観光について
- ❖保育所民営化について

渋谷 進議員……P 5

- ❖中学校給食の実施について
- ❖町民の足確保について

山中 一成議員……P 6

- ❖第二大山崎小学校のプール及び放課後児童クラブ移設について 他



※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。(質問順に掲載)

岸 孝雄議員 (所属会派 民主フォーラム)



1. 武力攻撃事態等における住民の保護体制について

問 ミサイル発射など我が国が外国から武力攻撃を受けた場合の警報の発令、住民の避難誘導及び救援などの手順を定めた「国民保護法」に基づく本町における住民の保護体制について問う。

答 「武力攻撃事態」や「緊急対処事態」については、情報収集と対応判断の面で災害対策とは大きく異なり、国が主導権を持つ「警報」発令や「避難措置の指示」をする体制が定められている。平成19年1月に「大山崎町国民保護計画」を策定し、緊急時の「警報」の伝達「避難誘導」救援の実施」などについて詳細に

2. 災害廃棄物の処理体制について

問 地震や風水害等の自然災害により発生する災害廃棄物の一時集積及び近隣自治体・関係団体等との広域的な処理に係る支援体制の構築について問う。

答 環境省実施の「平成29年度災害廃棄物処理計画策定モデル事業(近畿ブロック)」に、乙訓2市乙訓環境衛生組合と連名で応募し、本年5月に事業採択された。計画策定では、災害廃棄物の一時集積場所候補地の確保が重要であるが、狭小な町域面積を勘案し、町有地はもとより企業等民有地の利用の可否も含めて広く検証したい。

3. 天王山山麓域における獣害対策について

問 天王山山麓域においてイノシシやアライグマ等の獣害被害報告に加えて、猿の目撃情報も寄せられ、通学児童等への被害も懸念される状況にある。獣害対策の強化が必要と考えるがいかがか。

答 イノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの個体数の削減と農地への侵入防止、生息地の管理を進め、被害状況に応じて捕獲等、隣接市と連携した広域防護、森林整備に取り組んでいる。サルについては、人的被害防止のため、啓発メール配信、啓発看板の表示、保育所・学校等への注意喚起の連絡、追い払いやパトロールを強化し、今年度新たな取組みとして、駆逐用煙火の常備、ロケット花火用フォルダー、モデルガンも常備し、目撃情報をもとにサルを山に帰らせるための追い払い体制をとっている。

辻 真理子議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 保育所について

問 保育所民営化の進捗状況、今後のスケジュールを伺う。

答 進捗状況については、大山崎町立第2保育所民営化実施計画を策定し、今後設置・運営事業者の募集を行うにあたり、必要となる「募集要項」及び「保育所運営の条件」と並び「保育所運営の条件」を素案として作成している。今後、7月から事業者選定委員会を開催し、「募集要項」及び「保育所運営の条件」をはじめ、選定基準等の作成等ご協議いただき、8月に設置・運営事業者の募集を行う。9月には事業候補者を選定の上、答申を受け、最終的に私(町長)が決定する。

再質問 町が提示した「保育所運営の条件」について、民営化の意義とされる多様なニーズの一つとして休日保育の実施が「公募した民間が提案したら」と、これまでの議会への説明とは食い違っている。その点はどうか考えるか。

答 今後検討委員会で検討してもらう。事業者とも協議していく。

再質問 検討委員会の協議で要項の基準が下がる可能性もある。その「募集要項」で町が公募するとなれば、町として基準を下げることを認めることになるのか。

答 町として、基準を下げることは考えていない。

再質問 引き続き保育に引継ぎを行う。他の職種も業務の引継ぎを行う。入所選考基準では、継続児童が優先だが、第2保育所の子ども達

継続する保育所そのものが廃園される。民営化により今回は例年通りではなくなる。どの位の割合で第1・第3保育所に転園出来るのか。

答 アンケート等を取っていないので把握していない。

問 平成30年度の保育ニーズ、待機児童対策について伺う。

答 平成30年度には待機児童が発生する可能性は否定できない。

問 第3保育所の老朽化対策についていかがお考えか。

答 第3保育所は、昭和51年に開所しており、今回民営化を行う第2保育所と同様、施設の老朽化は否めない。今後は、大山崎町公共施設等総合管理計画に基づき、町全体の公共施設の老朽化対策の中で検討する。

その他、町内の都市公園、一般公園について質問した。

北村 吉史議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 都市計画税と本町のまちづくりについて

問 町制施行50周年に向けて、次の50年も次世代に継承するために、都市計画税と町づくりについて伺う。

まず、人口フレームをいかに考えるのか。

答 行政施策を計画する基準値と考える。

問 現在のミニ開発の状況を秩序ある開発とどう思うか。

答 開発行為等に関する指導要綱に沿って協議・指導し、良好な住環境の確保に努めている。

問 円明寺が丘団地・下植野団地・鏡田地域のあり方について伺う。

答 時代のニーズに合う住宅地への更新が円滑に進められることが重要と

考える。

問 民間資本による建替え等、理想のあるべき姿を町として提案すべきでは。

答 全国的な問題であり、課題として認識している。国の各種施策を見て情報提供していきたい。

問 都市計画の見直しと新たな財源確保について伺う。

答 本町は課題山積しており、新たな財源を確保しなければ未来を放棄することになると考えている。

2. 高齢者を狙う振り込め詐欺対策について

問 全国推計年間400億円とも言われる振り込め詐欺事件が頻発し、乙訓地域でも、昨年の被害総額を、今年は5月末段階で既に上回る状況にある。高齢者を狙う振り込め詐欺対策について伺う。

まず、犯罪形態の変化に対し町の見解を伺う。

答 5月に入り京都府内において特殊詐欺被害や予兆電話が頻発しており、警察と連携し、情報共有している。

問 向日町警察署管内における振り込め詐欺の発生状況について伺う。

答 向日町警察署管内における発生件数は27年12件、28年8件、29年は詐欺被害10件、不審電話35件と多発している。

問 本町の高齢者の生命財産を守るために、振り込め詐欺の犯罪電話を元から絶つシステムの構築を国・府・消費者庁・民間企業と連携して、早急に予算化してはどうか。

答 現在、振り込め詐欺や悪徳商法対策として、迷惑電話防止機器の設置や迷惑勧誘防止ステッカーの配布が有効な手段と

考えているが、新たな取り組みとして、今後十分に検討したいと考えている。

まず、犯罪形態の変化に対し町の見解を伺う。

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



1. 通学路の安全対策について

問 通学路の安全対策について、西国街道役場北交差点からいきなり幅員狭小となる通学路の安全対策を尋ねる。

答 京都府において、東西両側の側溝整備と合わせ、歩道幅を概ね1・5メートルに拡幅し、高齢者やベビーカーの方々も歩きやすいバリアフリーの道路整備として、歩道部分のカラー舗装やガードパイプの設置など、沿道の皆様のご意見を反映し、安全性の向上が図られるよう対策されている。町としても、この区間を生活道路として位置づけられており、町外からの通過車両が流入しないよう工夫してまいりたい。

2. 町道1号線名神高架下北狭小S字カーブの対策について

問 町道1号線名神高架下北狭小S字カーブ対策について、拡幅などの安全対策を尋ねる。

答 名神高架下北交差点から円明寺が丘団地までの区間においては、道路幅員が狭く、歩道が未整備の状況であるので、拡幅整備するために、その整備手法について検討している。狭小S字カーブ地点の安全対策についても、町道1号の道路拡幅整備計画の中で検討し、実施してまいりたい。

3. その他について

問 高すぎる水道料金問題について、抜本的対策とはいかなる形か問う。

答 水道事業の経営の安定と改善を図るため、水道施設の統廃合による更なる経費削減や、京都府に対し、府営水道の受水費負担の軽減を強く要望したい。

問 まだ使用できる第2保育所の存続維持を求める。公営か民営かの入所選択は、保護者が選択できるべきと考えるがいかがか。

答 第2保育所を民営化し、保育所ニーズの受け皿を確保する。入所選択については、毎年度入所継続等の意向を確認している。他の保育所への転園を希望された場合には、可能な限りの調整をしていく予定である。

問 税金の拡大策及び企業誘致について問う。

答 公共施設の老朽化対策をはじめとする都市基盤整備等、山積しているまちづくりの課題解消に向けた税金の確保策について、町税収入は減収が続く、今年度当初予算では、昭和60年度決算から全体で約10億円もの減収となっており、今後明るい展望を見出すことが困難な非常に厳しい状況である。

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 公共施設の老朽化対策について

問 公民館ホールの早期利用再開を願う声を聞いている。今年度、公共施設整備計画検討会議(仮称)が開催される予定だが、耐震化を優先的に進め、町民の声にこたえるべきではないか。

答 公民館の再整備については、施設の長寿命化や複合化などを含め、総合的かつ長期的な視点で検討を重ねている。複数の整備計画案について、公共施設整備計画検討会議において、広く町民の皆様からご意見をお聞きし、公民館と周辺施設の整備をすすめていきたい。

再質問 公共施設の老朽化対策についての方針を示す公共施設等総合管理

計画では、「公民館と同時期に更新時期を迎える他施設との複合化を検討」とあるが具体的にはどの施設か。

答 公民館とその周辺の公共施設について検討中であるため、この場での回答は控えたい。

再質問 第1、第3保育所も含むか。

答 検討の対象には入る。

再質問 公民館の再整備をいつまでに行うというゴールを決めているか。

答 特段決めていない。

再質問 複合化をするなら、それぞれの機能をきちんと果たせるかなど、長寿命化と比べ、相当時間をかけての検討が必要となると考える。検討の期間、公民館ホールを使えないままにするのか。

答 長寿命化、複合化のどちらにしても期間はそれほど変わらないと考えられている。

問 小学校の老朽化対策の検討状況はいかがか。

答 国の動向も踏まえ、施設を建て替えるのではなく、耐用年数の延長を図る長寿命化を進めたいと考えている。

2. 平和事業について

問 国連において核兵器禁止条約が制定される画期的な情勢となっている。本町としても、核兵器や戦争の恐ろしさを伝えるだけでなく、なくしていく取り組みがされていることも伝えるよう提案するがいかがか。

答 引き続き取り組みたいと考えている。

再質問 核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」は、町長が参加している平和首長会議も推進している。すでに署名をされたか。

答 まだ中身を熟読していないので、その上で検討したい。

西田 光宏議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 大山崎町の玄関口 (JR・阪急 駅周辺整備及び観光について)

問 JR山崎駅のバリアフリー化を問う。

答 JR山崎駅のバリアフリー整備計画は、JRと平成32年度末供用(使用)開始に向け相互に協力することを確認するため、協議している。具体的には、現在の駅地下通路の各階段の向かい壁にホームとつなぐエレベーターを大阪・京都方面それぞれ一基設置する計画としている。

再質問 現在の駅舎は現状のままであるか。

答 JR山崎駅舎は現況のまま残る形になる。

問 地方創生の観点から都市基盤整備や観光資源開発における住民との連

携について問う。

答 駅前広場を含め駅間をどのように整備するかなどを、町と地域が一体となって、意見集約し、検討したいと考えている。

今後の駅前整備の検討の中で、地方創生のよりよい施策、更なる観光客を獲得するための観光資源開発についても、町民と協働で進めたいと考えている。

2. 保育所民営化について

問 本年開所した民間小規模保育施設の運営状況、病児・病後児保育、町の

考える保育の質、公立保育所と民営保育所の財政面の違い、保育を必要とする保護者や関係者の新たなニーズに関して問う。

答 民間小規模保育施設の運営状況に関しては、順調に推移し、本年度の待機児童を発生させることなくスタートできる受け皿になった。

病児・病後児保育に関しては、本町になかった施設であり、対象を小学生までとしたことで、安心して子どもを預けられる大きな存在になると考えている。

公立保育所と民営保育所の財政面の違いに関しては、公立は町の一般財源で対応する以外に方法はないが、民間事業者の場合は国庫補助の対象となる。運営面でも、民間は国・府の補助金対象となり、財政面で大きなメリットがあると考えている。

保育を必要とする保護者や関係者の新たなニーズに関しては、西山天王山駅周辺の開発等による子育て世帯の増加のため、待機児童対策は喫緊の課題となる。また、産休明け保育や延長保育、幼児の完全給食などについても民間活力の導入によって保育ニーズに対応したいと考えている。

渋谷 進議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 中学校給食の実施について

問 昨年6月議会で、教育長は「平成31年度中学校給食開始を目指したい」と答弁したが、その後時期の言及がなくなり、早期実現への姿勢後退が見られる。また、町長は「保育所民営化の実現なしには給食実現は難しい」と述べている。中学校給食を平成31年度に実施する意思はあるのか。

答 今年度、中学校給食施設の基本設計を委託する。この基本設計を作る中で、実施方式、計画敷地、京都府建築審査会の特別許可などの進捗状況によって、中学校給食の実施時期が決まってくる。と考えている。

再質問 「保育所民営化の実現なしには給食実現は難しい」旨の町長の発言の意図は何か。

答 中学校給食の実施は財政状況を勘案しながら進めたいと考えている。

問 町の総合計画では、「福祉施設の対象には該当しない人への施策を含め、買物や通院などの日常的な移動の利便性の向上をはじめとした町内外の移動手段の確保について検討が必要」と述べている。しかし、実施計画では、JR山崎駅のバリアフリー化計画が町内外の移動手段の確保についての施策の中身となっている。

町民が望む「足確保」の内容は、田明寺が丘団地の高齢者や鏡田地域の住民から要望されている「町内の生活上の移動手段の確保」ではないのか。

答 最近、高齢者の運転ミスによる悲惨な交通事故が全国的に多発しており、その対策が急がれている。高齢者が自ら運転することなく移動する手段を確保する施策は、高齢者の視点から行われるべきと考える。町は、高齢者の自動車免許証の自主返納を促進する取組を進めつつある。今後は、同事業の実績等を勘案しながら、高齢者が安心・安全に利用できる交通施策を検討していきたい。



議会だより

山中一成議員（所属会派＝大山崎クラブ）



1. 第二大山崎小学校のプール及び放課後児童クラブ移設について

問 プール及び放課後児童クラブ施設の移転計画の進捗状況を尋ねる。

答 放課後児童クラブ移転にかかる校舎改修工事を9月から10月にかけて行う。プール改修工事は11月から平成30年6月まで行う予定としている。

問 プール及び放課後児童クラブ施設を移転することによって確保、向上する安心・安全は、具体的にどのようなものか。

答 将来的な入所児童数の増加時期に備えた施設の拡充、老朽化にもなう維持修繕の課題解消、一旦学校を出て外部を通してクラブへ通うことによる不安解消を図るとうとする

ものである。校舎と同一建物内に移ることにより、指導員と教職員が相互に行き来することが容易になり、放課後児童クラブが単体で立地している場合と比較して、大幅な体制強化を図ることができると考える。

問 二つの施設の移転事業経費に対して活用できる財源を尋ねる。

答 プール移転事業にかかる総事業費は、1億7,196万1千円である。国庫補助金（学校施設環境改善交付金）を4,672万1千円と見込んでいる。残額には、地方債（学校教育施設等整備事業債）と一般財源を充てる。地方債の一部は後年度において交付税が措置される。

問 放課後児童クラブ施設の移転に係る総事業費は、2,938万5千円である。最大で国庫補助金800万円、府補助金800万円の計1,600万円を

見込んでいる。残額には、後年度に交付税措置がある地方債（公共施設等適正管理推進事業債）と一般財源を充てる。

問 放課後児童クラブの事業運営の責任の所在はどこにあるのか。

答 教育長の「責任」のもとに教育委員会事務局が事業を推進している。

問 プール施設、放課後児童クラブ施設の移転に関する決定権限はどこにあるのか。

答 執行機関である町長や教育委員会が政策判断を行う。最終的な決定権限は町議会にある。

その他に「まちづくり懇談会」や「保護者説明会」の中で、今回の移転計画に対して行われた質疑応答はどのようなものがあったか。また、大山崎町制施行50周年記念事業について質問しました。



直接請求 第二大山崎小学校プール・学童保育でっかいクラブの移転を問う住民投票条例(案)

議案第44号 第二大山崎小学校プールの小学校グラウンド内への移転ならびに学童保育「でっかいクラブ」の第二大山崎小学校教室内への移転を問う住民投票条例の制定について

本議案は、地方自治法第74条に基づき、住民から同条例制定の直接請求が行われたことにより、町長が同条例案に自らの意見を付けて、付議されました。議会では、会期を6日間延長の上、条例制定請求代表者による意見陳述を行い、同議案の審議(質疑・討論)を行った結果、賛成少数により否決しました。

審議の過程

6月23日
町長の提案説明
(同条例案に対する意見を表明)

6月28日
条例制定請求代表者の意見陳述

6月29日
討論 採決

波多野 庇砂	前川 光	渋谷 進	朝子 直美	辻 真理子	高木 功	岸 孝雄	北村 吉史	山中 一成	森田 俊尚	西田 光宏	議決結果
○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	否決

※小泉 満議長は採決には加わらない
【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

条例制定の直接請求とは

地方自治法第74条に基づき、住民が有権者の50分の1以上の署名をもって、町長に条例の制定(又は改廃)を請求できる制度です。

住民が収集した署名は、町選挙管理委員会によって審査され、有効署名が確定します。

住民から50分の1以上の有効署名を添えて条例制定の請求があった場合、町長は住民から提出された条例案に自らの意見を付けて、議会に付議し、議会は条例制定請求代表者に意見を述べる機会を与えた上、審議、議決します。

町長はその結果を条例制定請求代表者に通知し、公表します。

議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

第2回 定例会

◆賛否が分かれた議案等

議案番号 ※	議案名	議決結果	西田光宏	森田俊尚	山中一成	北村吉史	岸孝雄	高木功	辻真理子	朝子直美	渋谷進	前川光	波多野庇砂	小泉満
29	大山崎町立保育所民営化に係る事業者選定委員会設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長のため採決には加わらない
31	平成29年度大山崎町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
32	大山崎町体育館改修工事請負契約について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
44	第二大山崎小学校プール的小学校グラウンド内への移転ならびに学童保育「でっかいクラブ」の第二大山崎小学校教室内への移転を問う住民投票条例の制定について	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	
請願3号	学童保育でっかいクラブの移転時期延期を求める請願書	不 採 択	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	
意見1号	「組織犯罪処罰法」改正案(共謀罪法)の強行採決に抗議する意見書案	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	

◆全員が賛成であった議案等

議案番号	議案名	議決結果
24	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町税条例等の一部改正について)	承 認
25	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町国民健康保険税条例の一部改正について)	承 認
26	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について)	承 認
27	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第6号))	承 認
28	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第7号))	承 認
30	大山崎町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
33	大山崎汚水中継ポンプ場長寿命化対策工事その2請負契約について	原案可決
34	大山崎町教育委員会委員の任命について(岡 弘子氏)	同 意
35	大山崎町農業委員会委員の任命について(並川 正和氏)	同 意
36	大山崎町農業委員会委員の任命について(平井 章司氏)	同 意
37	大山崎町農業委員会委員の任命について(三宅 温氏)	同 意
38	大山崎町農業委員会委員の任命について(垣内 兵次氏)	同 意
39	大山崎町農業委員会委員の任命について(吉岡 保氏)	同 意
40	大山崎町農業委員会委員の任命について(西村 淳子氏)	同 意
41	大山崎町農業委員会委員の任命について(西河 豊氏)	同 意
42	大山崎町農業委員会委員の任命について(小泉 亨氏)	同 意
43	大山崎排水機場旧棟解体工事その2変更請負契約について	原案可決

※34～42の各議案名のあとの()内は任命された委員のお名前を記載しています。

※議案番号は平成29年第1回定例会からの通し番号です。

6月議会

こんなことが決まりました

平成29年第2回定例会

平成29年度一般会計補正予算を可決

☆保育所民営化に係る事業者選定委員会の報酬(51万2千円)

5月10日に選定委員会が開催されたものの、「要綱」に基づく開催の法的根拠に疑義があるなどの指摘があったため、町長の政策判断において選定委員会を条例化し、法的根拠を明確にして設置されます。今回、選定委員は5名から8名に、委員会開催は6回から8回に変更され、必要な補正予算が計上されたものです。

予算決算常任委員会の審議では、「要綱」に基づいて行われた5月10日開催の委員会について、委員への報償は支払われ、議事録についても公開されることを確認しました。その他、議会への説明の不十分さを指摘する意見や、一旦選定委員会を解散したことにより、さらに過密なスケジュールで選定が進められるため、十分な議論や適切な選定が行われるか懸念する意見がありました。

☆大山崎小学校舎屋根修繕費(50万円)・屋外運動場の夜間照明施設修繕費(100万円)

大山崎小学校の管理棟雨漏り対策として屋根の防水工事を施し、屋外運動場の照明機器の故障箇所を修繕するものです。右記などの予算が計上され、賛成多数で可決しました。

その他の主な議決事項

- 町立保育所民営化に係る事業者選定委員会設置条例を賛成多数で可決
- 町体育館改修工事の請負契約締結を賛成多数で可決(契約金額4億1,904万円) ※工事に伴う閉館期間…8月1日～翌年3月31日

各常任委員会において報告を受けました

- ・同報系防災行政無線について 一部地域で想定音量に達しなかったため、工期を8月末までに延長して子局を増設予定【総務】
- ・JR山崎駅バリアフリー化について 平成32年度末の駅構内エレベーター設置に向けてJRと確認書を交わす予定【建設】

議会のうごき

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会
7月24日(月)

第3回定例会の日程について

8月16日(水)

第3回定例会予定付議事件の説明

★全員協議会

7月28日(金)

第2保育所民営化事業について

8月4日(金)

都市計画税について

★広報常任委員会

8月14日(月)

「議会だより第81号」編集について

●京都府町村議会議員研修会に議員が出席しました

7月21日(金) ルビノ京都堀川

研修テーマ「ひとを動かし、まちを動かす!」など

7月19日(水)

視察研修テーマ「議会改革の取組」

●岐阜県の東白川村議会議員団が視察研修に来町されました

7月19日(水)

視察研修テーマ「議会改革の取組」

皆様の傍聴を

歓迎いたします

—現在、開会中の

9月議会の日程をお知らせします。—

第3回定例会(9月議会)の日程

8月23日(水) 本会議(開会)

28日(月) 全員協議会

議会改革特別委員会

30日(水) 本会議(一般質問)

31日(木) 本会議(一般質問)

9月4日(月) 総務産業常任委員会

5日(火) 建設上下水道

文教厚生常任委員会

6日(水) 予算決算常任委員会

7日(木) 予算決算常任委員会

8日(金) 予算決算常任委員会

11日(月) 予算決算常任委員会

13日(水) 広報常任委員会

15日(金) 本会議(最終日・採決)

※本会議、及び建設上下水道文教厚生・予算決算常任委員会は午前10時開会予定。その他の委員会等は、午後1時30分開会予定。

広報常任委員会

- 西田 光宏 委員長
- 辻 真理子 副委員長
- 岸 孝雄 委員
- 高木 功 委員
- 前川 光 委員
- 波多野庇砂 委員
- 小泉 満 委員